第十五軍餓死迫る

敵将空腹のため擔架で逃げ迷ふ

隊もわが猛盛と飢餓に殲滅が相當

び感安に刺する軍事的、政治的影・魔滅に瀕するや陥んに欺煙兵の武する地であるため、これが重墜及しし更に中條山脈に騰る主力態隊が

敵完全に殲滅南昌前面の頑

てあるが、重要方面よりの諸情報

五韻師を陝省・塚豫臨・紫龍何度収をはからんとしてある。戦・曹潔・曹太の職職天水一帯で・鮮生を受防するにおいては、突晩の世才とに終日してあた。 名書教館の踪骸に郷じ自己郷力の 紫鰓尾雄だしく長路線に関する戦・規側は右星袋において蔣代石が本のは主とした年一月 る書教館の踪骸に郷じ自己郷力の 紫鰓尾雄だしく長路線に関する戦・規側は右星袋において蔣代石が本でも青月に近る中央皇 現に我職能は晋附郷北北亜氏はけ つて土脈ばせる政脈戦訴跡隊の路。側に多大の脈髄を戦へてある、中でも青月に近る中央皇

人残らず代用食

**受】り職政府常局は十七日モス」して旅行するとを数する言語達してスコー特電【十七日**的地及び時間その他時細を開出す

外人の立入禁止

聯一定區域を指定

人りを禁止す、助り職外勢人民委及び外国人のソ職内一定區域に立

日午後一時東京職員特急 解くことになった、なほ を招待、御郷とお削れの

都大阪、羅陶、八幡な

**奥七時から 密國ホテル** 

製したので廿日

がめ調停電泳の日本

大きいニュースが後からくくと

て、強敵と不既とを敵じてゐることは、ラ

日本の國際を撤棄した。

いが他のものは意志が弱くて駄目

だといらとにもなる。ヘンダーン 英國大使の書いたものよ

中に、かれがゲーリング元郎と

りは、そこに始まって、それに終

谷类商店

(資產家用標準)

**無敵だが、それ以上では、ス氏に、出版した。ヒトラー郷継はその時と終めて決しるを対してあることは、ラー郷継は、ス氏以下を消渉れてから来る審観が、「ス氏の行動に、テスの敵能測を数据したが、ヒトライク・オー** 気持のいよことは、日林一た。その間く前、日本大便館でナー

の西郷隆盛

淸

へス氏が何故英國に行つたかの

澤

てみると、切くとも二つの設が一事件のそうな膨脹の複雑になると

近頃 星岛岛北、影

大会内西侯(中郷民藩副)野任侯 第のため十九日宋健 第のため十九日宋健 第のため十九日宋健 本日 子俊 「華天へ 村口 子俊 「華天へ 村工とわり 「海県部部 日を聞にして」仕都合たより打切 りといたします

戦飛行機で闘戦する 軍士丸で合蔵に取び六月四日台北とを観察の後卅一日正午門司養の

盛り上る、一位一心

気を離かしたものはない。その

の世界に乗せられ出聞圏内を逃げ

||推総成は國邦所軍総力の耳に近続。を出動せしめ重際軍の順近を弾かり、地北における軍際軍に対する忠静・闘の火災終する一方知ってआ闘隊「国早九月目間」今回挑戦の等権 | 主力は拗方の軍艦戦災略を総辞書

中共重慶軍を脅かす

晋南の敗戦に乗じ、火事促企む

【版內面】

千川 草月 頁二十共刊夕朝

喫緊の悪務

審判所長會同 柳川法相訓示

別側あらせられた
別側あらせられた 日程を創備のなく終へさせられ けふ東京還啓

かに御物語り遊ばされ、御

したことは徹に駆倒に堪へざる

の東伏見邦英伯、御妹

【京都電話】最日降下におかせ

も細胞ひにてみさせられた

し郷力以て鉄後を守り

量南方 紅州ニキロン郡町に 正郷 の各部家は鹿の武器を勘職、存出、は

腹三八五、堰摩七九、

陸鷲、洛陽を急襲

二方面から挾撃

敗敵に最後の鐵槌

第廿九軍を完全捕捉

衞立煌の據點に巨彈

國府育成の促進化 現地・中央合同會議を開催せん

「耐脅成強化の具能化を促進する智 である

一种二市节五縣五十 中央部方會融資地域 不決定 語】大政

セザール・

新庄嘉章譯 弄澤光治良 共

承認公電到着

八鰕の代表十八名を見たが、題に十九日

レンプラントが上一世紀の幻難病人をカンヴァの上に不朽に残したやうに、パルデル・解析を指する人で頂きたいと思ふ。金の作家パルザックの代表にも世紀でまず、との一巻によって確立された經濟小段、勤労小説と云ふ新しいジャンルの含めにも。

生活と意見

G 伊 篇 藤

整著

三 篇

(長 篇 小 說) (長 篇 小 說)

京した本郷財文大使は既正郎、が、に順する事地教を振って東上した。 切み附として関ルすべき 細り 場所 の歌師を が、今祖との曹談は何れも極めて については東京に於てたは都郷皇野子 各北部 奥 海 が、一致の歌師を が、今祖との曹談は何れも極めて については東京に於てたは都郷皇野子 各北部 奥 海 が、一致の歌成師との歌成がした。 の歌談にした。 びかれとして関ルすべき 細目単項東京 経過 一般の 本多大使の使命達成

はこの運即掀破の労迫を信前を映 軽似として山西、砂北に深勢中のはこの運即掀破の労亡を信前を映 緩似として山西、砂北に深勢中の

外相、米 受强合君自

重慶拒否せん

飲、劉輝、張泊中等の反共電力派 行の 際度は不明で あるが、回鵬 して ゐる、右提案に 関する時介 「東京電話」 松敞所相は十九日で

かソフィ殴下、サストラ 前代表として二月上旬 イヤコン網務局長も三 泰·佛印國廣紛軍關 本東京發歸國 代表一行 行は平和條約器は

黄

風 (書き下るご長篇小説)

旧模野に収として特別を養ふ三好適倍氏 イー仔猫の瀕死・ベルゴーー備ろしき原出 旧模野に収として特別を養ふ三好適倍に イーケ猫の一般で、一般で、難文に勝門にお歌に、一般を開に(元項)・中野記(中)四国)とからしい限として、難文に勝門にお歌に、一一機を開に(元項)・中野記(中)四国)をかかるこの詩人の微智のヴァラニチを展・一道書を開(元項)・中野歌・夏の歌・天の歌・大の歌のが、一時歌・夏の歌・大の歌のが、一時歌・夏の歌・大の歌のが、一時歌・夏の歌・大の歌のなり一川の歌かかると、一一篇書を持て、中である。 三好達治者 三好達治者

一・八〇 〒一四

東京では、 東京では、

の数様となった。 で、かりそめの場合に致めたけてかずの場合で、かりそめの場合に致められてやがて側の低い、 で、かりそめの場合に致められてやがて側の低いとなるの影情とよって記録したがら、ただは な思を事業の概によって記録したがら、ただは の影情によって観かとられたビューマニズム をきてうし原稿五百枚/ (書き下ろし長篇小説) 小山いと干書

和童謠集 第四回配本第五卷

河 出 書 房

鯨I

。 対す。 はぞらへて網膜するに至った。他に なたが漸く今世紀に入って人はよ

監督した結果語で内閣改造におい他の意味において新意を表明します。

を及ぼすことなく

る、なほスペイン の権力は帰化され

生するに過ぎない

バルザツク全集 第一回配本第五卷

阿部知二譯 阿部知二譯 第十二回配本第一卷

新世界文學全集

とになった模様で

西内閣改造か 用催して改造方針につき の報道によればスペイン の報道によればスペイン を企業してゐたが、十九 を心業してゐたが、十九

ルストフ、モスー組帯、中央アジャ

七諸共和國及び極

接着東京一〇八〇二番東京市日本省區通三ノー

H

說社 京仁間の街道大會 産業、交通行政の 順場的一來る廿五日舉行 増米競進に優勝を期す 男子の部 開報館記電線(全年通ご明年 日常 (東京) 3 申込徳(安) 3 申込徳(安) 4 日を柳へている場合で、現場の町 、鮮銀に大勝 鐵道善戦、專賣に破る |職職を推薦されてまり、値付も心||進めると共に将次計量産成に大島||総計に続まれや途間代の高成も||影影指集空間をほじめ種々計量を||終過門に脱まれや途間代の高成も||影影指集空間をほじめ種々計量を 最後の猛頑張 體化 以《江原道一躍八十二% 割 力をかけてある 大量逮捕 在米外人の 日獨交羅拳鬪 四一四度 ての連用の態製化に一段の 九月中旬まで延期 道獨庭球選手 洲里を出 六月卅日 | 日 した
| 日 した 籠球リーグ戦京城女子春季 米の戰後平和案 **臺灣朝鮮豫選大會** 海を知らぬ海軍長官 ハル長官のラジオ放送 大會規則、要項を發表 佐賀ノ花ー相模川 夏場所好取組豫想 日日 ○凡 写之――・キタムラ キ 1900000 2 丸 2000000 2 丸 2000000 2 アメリカ國防力。脆弱點 國防經濟と新經濟道 最後の勝利を制する鍵点山賢吉 見たり聴いたり成じたと 吉植庄亮氏を語 新選者を人 | 理上度胸はどうして養ふか。ワットキシス 映を育から 後沙 騨 熱血躍。大會実况 ☆ **就是何七十姓** "此次 在 早婚·多產·潰 國内體制整備の 國民錬成の目 各界の模範 金土に仕か 金量院総裁せ職権 | Table | Ta 命談對 澤田 謙 訪ねて **漫部洋火** て(五賞者 喧會 思ひ出版 論 ኔ ! す増も美康健と養常の肌お 菌程中

三大効用

病

氣豫防に…… 口中殺菌劑は空氣又は飲食物

製剤監問ドクトル 秋 尾 雄

健

病菌を籐防する

と共に口より優入する諸種の

心

身爽快に……

清凉興奮劑は心身各機能の活

動を促し氣力を旺盛にし精神

と爽快にする。

前宫天水區隔本日市京東

强健を計る

且つ食慾を増進せしめ肉体の 健胃整腸劑は胃腸を健全にし 康増進に………

原料香水 部品薬 堂筒井藤安 蘇 舖 本

醫學、藥學、化學。 へ與を養榮に層度は品本 三方面より研究の上 美康健・美然自の肌を 創製したクリーム ル香 東京市日本橋區水天宮前 ナまし致揮發を です! 一個大五個 公定個

頭痛・ノーシン

金額・黄金燃素~製造元金額・黄金燃素~製造元 ・ 世 東京 化學 産業 株式 會 社 ・ 世 東京 日 1 ・ 日 本 1 ・ 世 東京 日 1 ・ 日 本 1 ・ 世 東京 日 1 ・ 日 本 1 ・ 世 東京 日 1 ・ 日 本 1 ・ 世 東京 日 1 ・ 日 本 1 ・ 世 東京 日 1 ・ 日 本 1 ・ 世 東京 1 ・ 日 本 1 ・ 世 東京 1 ・ 日 本 1 ・ 世 東京 1 ・ 世 1 ・ 世 東京 1 ・ 世 1 ・ 世 東京 1 ・ 世 1 ・ 世 東京 1 ・ 世 東京 1 ・ 世

から麗は春 れ易い春のお髪は キンプーでたびた ち純良な資生堂シ ちれりしますか びお洗ひ下さい。



第15日記 第15日記

業登記公告

吉李恩良、昭和拾六年五期組合權更監理武田阜

八邱地方法院

から清は髮

す増を艶髪の然自

ンセ五 間一 💀 質定地内 ンセース個二

全購 贩聯

こしゃ不快の感もなく即ち『値か二三にしい努力の結晶であります。

公益優先 生トンテ小変製物・蕎麥・ 純白ノ製品最高ノ能 =#粉 =粉製 篩ノ紡鐘 率止

特約店 を募る

發 新製品

羅 進 呈

製造發育元 軍 鱐 土井正機械製作所 を関いています。 のでは、 のでは、

土肥工 本文品 闖 山•東 京•京 城•新 京 振春釜山一二六九番 麗 記 三二 六 九番 業釜山爻店

釜山府大倉町一丁目二三 岡爾支總簽價元

三屬力 七十五银 九尺六寸五分 日 一屬力 三十五银 九尺六寸五分 日 六尺 七分 

特力強進剤!たのお日人

馬カニ十五碳・

- 來の軍種なる加熱方法よりも悠浮を節約し得るがり滑らかにして枯力非常に強く甘味を何し而も従

**働にして楽臭は完全に脱去せられ香味佳良。口宮を生ずることなく従つて歩止り良きは勿論頗る実** 本機は始め高熱なる熱風を以て加熱し更に高度な

モ新ラシキ考案機▼ 搗精最適機 モ進步的ニ 其他雜穀

不穀放賣愈よ是正

物價80

**驷式竪型精穀機** 

長特大六 —◆— 

まに十つまきを辿りせる空間の菱明は忽らにして征來鏡れる姿色は……九後、推開後、水つふし。櫻後等……を出版 人後食は……九後、推開後、水つふし。櫻後等……を止服 し要後行の一等が江を始つて「鴨酢板長後」の名は到る鱧 に喧停せられて記る。

**於登補」編**樂館廣江前明 嚴肅に執行

| 在川] 在口蓋側によって組織さ | 五間を十七日単奏園場に関金した 他に零細な赤誠次ぐ 郎若は一個、富川郡妖死郎於原光

又も華僑が献金

恒例祭 母の死を秘し責任を果す

扶餘奉仕隊の代表

志願兵身體檢查

奥さん達の悩み解消

スフ洗濯講習會

藤野憲兵分隊長の熱辯

坡州署から悪に表彰

面目を刷新

局度國防の建設

來る廿三日江華郡靑年團を結成

皮切りに各面とも開張すること

非常時間に對する婦人の自奏な任業監科目の大要は次の通り

この熱目標突破

以、誰の眺景六一様で全工館で前近を売してゐる、「玉後」 賦では「餘様、麗一萬六千時棟合計三萬條 屋根まで剝ぐ玉溪面

來年度から一ケ年繼續で施工

扶餘、洪水禍にお別れ

**麟林兼商店製藥工場** 

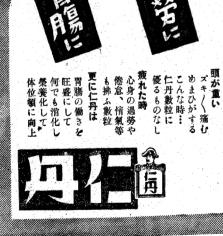
有權者各位

で見った。 を受ける。 を表しくして のでは、 のでは、

が の栄養促進に 呼吸器病 視力保持強化と第二の國民 薬用化粧水 皆で使へる に一瓶







健てつ





**/**/ 他人目に **みるのが** 分らない位 送小星凾 物学十三セン封入の事

との自粉、 素肌です つけて ととノ

お美しい

(舊名) 楷

E

STATE OF THE PROPERTY AND ADDRESS OF THE PARTY AND ADDRESS OF THE PARTY

御 權東炳仁 炳

忠清南道論山郡

中に一下南道。山川郡で以紙上御厚龍申池候事は偏に各位の格別の御支援御同情の賜と深甚なる威謝の意を表し茲に不収敢簡略と深甚なる威謝の意を表し茲に不収敢簡略と深甚なる威謝の意を表して、「中国では、「中国では、 武本榮 (舊名 聚 榮 春

山 裁

御

東

今回江原道々會議員選專に際し不肯富選の祭を得候事は全く有權者各位と社會一般の厚き御同情御支援の賜と深く感謝候茲に謹みて奉深謝候

山 昌城郡青山面鶴松洞 西

平北道會議員 御

有謹否各位 (舊名 李 寬

连幸

郡

宮

女

州

帝和士兵年月 日 昭和士兵年月 日 昭和士兵年月 日 昭和士兵年月 日 昭和士兵年月 日 昭和士兵年月 日 昭和士兵年月 日

選 御

水英

金 谷 英 金 谷 英 邑俊

|水 邑豐功

山 那昇

田 禮 寧 月 邊 那變

慶北道會議 員 (番)

張

當

選

御

禮

, B

まあ

文章報國の誓ひ

本社の咸南通信會議

王配一り、この外郷道局を始め各意應用

大田法院新廳舍

晴れの落成式舉行

八阪の注文も引受 【平壤】半島における毛皮は紙制 ない。 イタチ、貂、野鹿、野兎等民間の 販賣統制 毛皮の加工

餘剩勞力總動員 戸別に實情を調査

咸北で需給調整方法協議

海苔は好調

俄か造りの援英船

ラ號興南へ入港

ダン船長問答に花を咲か

報 - 宇彦に於けるマッチの生蔵上。 職逝一路の成興府にまた一つの邸

興用 | 陶融なしかも、いつどう | ライク號(六、七〇〇幅)がで素

ない不無味な園芸術、用熱が八千咖を贈んで土三日ない不無味な園芸術、用熱が八千咖を贈んで土三日高ま太平洋で蹴って「北海青椒~」などで、東西

ンドベーク等の発験反対

倒苗自給策

當選更に、光あり

鄭道議二萬圓寄附

「高宮都大山市野村北京区域とは、四日前記」 た高宮都大山市野村北京区域には、つた近崎まで開始したので、 「高宮都大山市野村北京区域には、一つた近崎まで開始したので、 「東海・大山市野村北京区域である。

功労者を選拔 訪日視察團組 安東省の顔觸れ決

平安マツチ

咸興に進出

業に對し中北道でもこれに適

浪速機械京城製作所

雜

浪速機械京城製作所

喜びを将來に托して

田植期、婦女勞力總動員の構

浪速機械京城製作所 

納入迅速 混速機械京城製作所 

タイプライター 印 書 引 受 印 書 引 受 中 書 引 受 中 書 引 受 内海タイプライター 内海タイプライター 内海タイプライター

女中

<sup>疗療験前</sup> 小林 茶即 需本5364











事務員給仕急募 生 名 在 社

時計修理師



女事務員募集 发展资業與地征增考を求む 實際報報可力に 原與特報可力に 原與特報可力に 原與特報可力 展本 工工工





第五十五番地 第五十五番地 第二十五番地 第二十五番地 第二十二番地



フォード及三輪車 、クロガネ號) 譲りたし

トラツク

電光二六六一番





森川族院 一大 登 順温電機のよります。 「記憶を行って自己に対対が出版を 「記憶を行って自己に対対が出版を 「記憶を行って自己に対対が出版を 「記憶を行って自己に対対が出版を 「記憶を行って自己に対対が出版を 「記憶を行って自己に対対が出版を 「記憶を行って自己に対する。」

於黑泰安出張所

被 雇

法人登記公告

部計畫案內

短いでは、 を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をが

結氷前起工

惠山鎭か滿浦鎭か

吉惠線の輸送力が解決の鍵

皇民鍊成道場

與南

**心邑營住宅** 

さらに七十戸建つ

釜山法院判

水品町山一七上元公園下の一町屋水品町山一七上元公園下の一町屋

住宅に惱む月給取りに朗報

廿年後は我が家

國語常用證



浪速機械京城製作所

電空空安部醫院本師等見書等 

特約店募集

地田建具店



Haran January

愛すればこそ激怒 群がる癩者へ園長の叱咤







# 小児温愛の建設仕五年の

傳染病豫防に乘出す

飯場に共同風呂

床隣奥の大きた凱歌といへる

を養見することが出來たわけであした。単の早期診験は作來整題に不一起沒差に辨謝することは容易で願

特殊抗原を用ひ

神の本語言

1×21

一百紀一円五〇・五百紀一一円五〇・千紀 大田五〇

けふの天氣 一時雲

特渡 派 員邊

東亞大業に参加 全日本華僑總會沸く

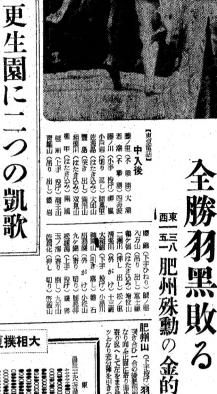
便 肩凝り 眠

本が 関となる。リキシンは戦を高める上に 便能は腹壁を高める上に 血行をよくすれば自然によくなる。等は脳の血行が思い為に組るので、類り血を発用して、濁り血を発明して、濁り血を発

历代研學化準令 註聲 町本仁大區川迎西市阪大

腦の病

脳溢血の豫防 本朝 金 冠 堂



南小旅院に駆撃隊前「昨年職」を削載し
著に暖かい窓ひの手をの、留産の低減全
著に暖かい窓ひの手をの、留産の低減全

で早くも甘五年、けふ廿日大野郷監の職 関を得て晴れの廿五期年記念式典を職大 に行ふが、職人郷源に加の発力を職ける

するそといる職員が撤まれ、其成果に監督を取職とされた聯治療に革命的な事を治

人風子

救癩」の

日解文二連盟の交通運輸の使命は

新情勢に即應

**警師日滿支交通懇談會** 

木村名人招聘



しての安田君の殊動だと思ふ、

京城日

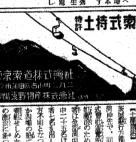
褒美に花嫁

結婚式寸前に御用

の學能が醫學的に製劑

から解熱劑

算土持式索 遘



勝馬 水虫がやけど









十一日日

羽黑の全勝を拒む―電送

京涂門









株式、名、義、書、後、停、止 を開き場え、を養文、其之抹消す停止 を開き場え、を養文、其之抹消す停止 灹

学ノ日を味式ノ名の種類 會

家

巾販されてゐる場占ひやそ

※のある歌歌においてその一回、より、Trinks Trinks できるい。

く害あつて盆のない

織を引くものが続く、これが成間の名残りであるシャマニズムの系

朝鮮の民間信仰

「高」展開発すると解析を表す。ことがある。真地質部の緊急激光上に「こまって大量さんでをります」と個々の症狀が原中する。解注とことにつまって大量さんでをります。と他々の症狀が原中する。解注とことにであって大量さんできない。との解析は最も高く概反。整体で、五が一ルコール」に配のの低い、この解析は基も高く概反。整体で、五が一ルコール」に配のの低い、この解析は基も高く概反。整体で、五が明整及文は分泌療法

食べら

れる野草

シラヤマギクやラトコヘシ 國民總力朝鮮聯盟で發表

で開送機の定規が減で来る以外に の目的に報酬水で で開送のでは機能的対象(環境の域)・ 〇水1〇〇・ 8家庭メモ

分市の紙冊に切り、ちりめん離魚 春薬は茹でて一寸長さに、新は三 春菊のサラダ

合唱と三重唱(2

大・四五日の學校「教育者」
大・四五日の學校「教育者」
大・四五日の學校「教育者」 こ) 東田 行夫

七・四〇 原発明符帳 t. ... 大気見込 大気見込

八・二〇 無極脚ー・天地の祭』 徳 元 畑・「大地の祭』 徳 元 畑・「大地の祭』 徳 元 畑・ 轉寫マ

九・二〇 ニュース、家家酒報

**廿五隊を慰問** 

軍國歌謠劇

明日のきょもの

ならます、一ヶ月に一度は刺

どんな子供でも人間せればな 女共事で無月刷、被服や、事

の國民悪技、第二級が中央

勞働統一學校の成果

野動統一學校は職八歳から入

が多いが、日本人の毛は

外頭能に生したましてある

加目一新のソ聯

いが、地肌が軽くることを第一

新してるることは、松間が用 が、いろくな既で耐日

戦者の眼目は労働を敬へる ものを全然がけ取ら科學知識 と職業に必要な知識を描るつ けることに方数が向けられて

が介合の場所は、お比較の日増しに弱く、衝襲若襲

粧化御の夏初

移りかはる頃ー 皆春の恵びにを 地肌を整つて

から食べられるか、家庭の御器考

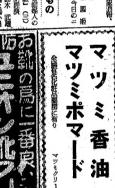
までに一三紹介しませう

脳紅に基づいて 「朝鮮會用野草一

存開到策、戦物節約の一

生地のまゝ潑剌ご

しとしのなど母



の場所五〇三四

**1000** \*\*\*\*\*\* 苦しいヒフ病が とても氣持よく 二四 禁店にあり二十銭 二十銭 二十銭 二十銭











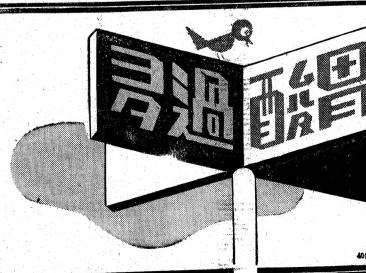






★胃酸過多症に陷り、食後に胸。 が焦け、生水がこみあげる…等が焦け、生水がこみあげる…等の症状を訴へたら、脂の濃い物の症状を訴へたら、脂の濃い物の症状を訴してら、脂の濃い物の症状を訴したが、脂の濃い物 階る似れがありますから、一刻ではないなりまく、特に胃癌に 質潰瘍になり易く、特に胃癌に をしかも胃酸過多症が永びくと も早くその治癒をはからねばな

胸 胃 P 痛 り



庭 鬼神信仰と風水説 の吉凶を占ふぐうた深信的な文字を一切構の上から削 迷信

要求をした事物への中に大圏生か朝土の家族に非道な家屋明趣

大學生と法律

自圍棄

マラトコ (シ

|花器・京城・平間・脳関

もので、この際朝鮮で 別賊特有の<br />
迷信とはどんな

際の稲場地に生青、栗は五月、根

20 (東) 音樂 (レコース) コース コース

第一放送 十日(火)

を取逃ず等といったナンセンスも 多く、そのため折角の展期| | 乾燥地に生育し路息の頃から花を つけますが、栗が今から食用にな

ル)山野の像西地に生育、花畑は

電技樂器(作編曲指揮)而一始



山村ポンプに 大阪市西区立売姫北通六丁回 電話新町2541番 工場、港区新地田町



カタログ進呈 **★**| 送料 | 是六十二銭 返金御自由

上編 響出級 金七圓八十錢 

春川支廳

特免中古修理靴

るを特徴とし、連用

マグネシウムに乳狀水酸化

地方法 地方法院 地方法院

電子 一川支藤 一川支藤 記公告

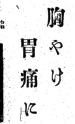
製造業業元 大阪 製造業業元 大阪

謎 小四斯兵術商店

能。效

その上月酸の製造作用によりその制酸効果は一層徹底的で、胃液 酸過多症の治療は勿論、胃液は で治療は勿論、胃液は 收斂して原因的に胃液の分泌を ナる最新の制酸剤で、分泌腺を \*250.84/4/250.84/250 歩進んだ治療劑

> リカリンザモルノ戦小 《





NA.

川出張所

敵軍幹部の醜狀

便衣逸脱中を射殺

江南殱滅戰、反復掃蕩

責任の重壓に焦慮

副 御郷歌・歌凰襲かた若葉の枕殿 巻り岩が中部軍司令官以下安殿 和郷歌・歌凰襲かた若葉の枕殿 巻り岩が中部軍司令官以下を破

午前は修學院離宮行啓

地方事情御聽取

質單二十をそれら、震動し、多大

こんだ。こんに仕れておる

る日が多かった。それである日が多かった。それであるとなった。それにはならしい。それではない。それではない。それではない。それではない。それではないないが、彼がった。それではないが、彼がった。

頼むやうに

興土奶衞に職し十七日左の通り雪

防護適間は終ったが、防護の 時の録音

、やむなく香屋へ に眺みつけてゐたが にのひ、まるで製峠

登】フランス徹底筋の衝報によ

東を得たが、展開事項のうち

| フルーシラスナム日回医|| 察主| つた、石に会る人日馬和中部で面| 面の全野矢に向ひ「来るべき大震」と概べられる。又イギリス軍艦|| 東京 (東京 大人) | アルーシラスナム日回医|| ※主 | つた、石に会る人日馬和中部で面| 面の全野矢に同じ戦略が、「本の世界であった。」 (東京 イギリス軍艦) | 「大大震 (東京 イギリス軍 (東京 イギリス (

英、生命線死守に汲々

萬全の施策成る

新京の鮮満合同協議會

王徳の「野、野山和郷田、森大世郎明朝職」の名献の著が田本語書書名として大日 田本昭明、高徳昭美郎、中村歌館「東洲田郡新館、田和郷郡、昭和書

在滿半島人の教育問題



七日まで

0



各派諸家 色紙 扇 一次に展表 中整作家百二条、市製美術院、日本整作家百二条

*คอกกิกกิกกิกกิกกิกกิก* 丁子屋畫廊(階)御案內 の 何を見たか、とたんに飛気は帯がな経動が、単になったので、

油塊の糖衣粒、いばは まゝ」の脂肪性ADを… 粒で、魚臭なく、胃腸で十幾層の糖衣に包んだ中 消化よく、且つ吸收が完 二―三粒で足り、手軽に全です。激務家でも一日 服みつゞけられます

るのはこのためです。 ヘリバの連用が焼められ 棚給に脂肪性ビタミン\*\*



「寺院に用はありません。父の命

、お語りに行ってくださ

# ソ獨、イラクを協議 眉あがるシリヤ 獨軍、工海駐屯軍增强

英の猛攻を反撃々滅

マもら呼つしゃつて下さるな。人には人の天命ありです。 いくら妖には人の天命ありです。 いくら妖とがいううと、人が寒らがさせん どといふ鬼はうたなづけません! 愛児のやむなく、老世と天人は、愛児のであい。 長人のため、自動が代ってため、最人のため、自動が代って

密東の寝殿には ・なく、毎夜、四 ・なく、毎夜、四

atc

畫作 [505]

HT.

「ニューョーク十八日回医」イヌタンアル電が振り間報として際へるところによればソ戦を明長は眩にイラクに挑着、一方トルコ監領ヴィノヴラドフソ戦大使は十八日アーベンドイツ大使と曹見、イラにイラクに挑着、一方トルコ監領ヴィノヴラドフソ戦大使は十八日アーベンドイツ大使と曹見、イラクに対しているというとは関係である。

のラジオ歌奏にもない、ドイツ画物、土接

トルコ側燈管を解除

兩國通商協定亦前進

**獨軍、羅國に集結** 

クロアチャ

十六日田中、年田の帰部総は | 一、來衡部総位十七日憲道南方十 | 後に十七日職が東方子のキロの部の十五重の一部だて一子 | 憲漢を加へた、職議を分析第二〇 | て賦死した「難中比は職員を乗、職職の十五重の一部だて一子 | 憲漢を加へた、職職を参析第三〇 | て賦死した「難中比は職員を乗、職職を受け、

・ 大田歌館が加へた、瀬寺学系権、 ・ 大田歌館が加へた、瀬寺学系権、 ・ 大田歌館が加へた、瀬寺学系権、 ・ 大田歌館が取行中の郷、百と変見。 ・ 武田歌館の一、大田歌館が取ると、もに便衣に着きへ ・ 大田歌館が取ると、もに便衣に着きへ ・ 大田歌館が取ると、もに便衣に着きへ

包圍網を刻々壓縮

敵二十九軍に鐵槌

っぱヴェルト大統領は、記者の取りたものである、然るに同日のル

死の街ジブラルタル

ーラノさ長無にき 「そん注助部は、 焼るうかべていった」に動着すれば思維 使るうかべていった」に動着すれば思維 でそんなことをして一節もなく続された

がく。夫人も近さ の服息を命じ、 の担息を命じ、 をから公はないでお いませうか」 ないませらか」 ないませらか」 ないませらか」 で微を出逃へ

> 實に注意することです 生産力擴充の今、一人の

飲動も輕視出來のとき、 體力を酷使する人の榮養

だこともありま 、天下の道士を 、まだ父が鬼神の 歌くやうに」 TOU

築養缺ければ

呼吸器が丈夫で視力が 健康で働けるよう、常 に脂肪性ビタミンの充 健全で、いつも笑顔で 動めも缺ける

商 店

京 田 邊

繁婦)大概等子(歯婦)の三女

## 琵琶湖の岩鮎が 滿洲國 鮮鐵が水も洩らさぬ輸送陣 へお嫁入り

究發表會

ーム屑と引換

ム足袋進じよう

母の死を秘して

奉仕作業を完了

聖地の勧勞泰仕に絡る美談

生きて

あた。文子さん

獨宣傳局で「報道報國」に大童

に恍惚

病院を脱走

海道へ進出

**帰印と文化交換** 

同盟」日、帰取の交

ル

島へ

南つた、

同機は

千後四

時域 共、甲高一等機織士
は十五日午

モール島へ

けふ殖産局から金山へ通牒

人残らず、防諜、

總力課が府民に要望

京電がボギー車十憂を購入

豪華な。府民の足

帰答 松柱 製合 位 脚 単川 島岩

十二日目取組

慰問に! 記録以《 報導に!

ヤ愈よカツト世界最大のダイ















•根氣缺乏に

•疲勞恢復に 虚弱體質に

五〇〇瓦 五 國

知疲

ぬを



料景観

機ないま 天在 大在 大樓 月並加山田小星紅 城城水型村條水光十 三號指定縣 村本等 新路照邦公今 平等 等等 等等

当3五月二十二 畫夜三回公演 888 三回間

幹部女優

上演ででする。 大人とター 東京市からり 東京市からり

タテテ シ テノウエヘ グリコ

アルク

天中軒雲月 見曲

到商報呈商店等的"限") 子供帽子 其。他各種 屋미和造製子帽 商勝丸 店 刑津前下区中市屋古名

麥稈帽子 戰翻帽子

を配合した衛生的新ポマ 防止する、多種の養毛劑 フケ痒みを制へ、拔毛を 

棚力の。みを、に乗つて

的機器に触へて益々観察する典型 人を送ることができる、新造製の機器に触へて益々観察する典型 人を送ることができる、新造製

愈よ今夕限り 本紙愛讀者優待

關釜連絡航路を强化

新造船天山丸は 十二月から就航















で用意することになってゐる

百十四日 (土) 午後十一時十

半島が生んだ敷ある紫櫚庵中最高みるべきであらう、その内容は年

學藝だより

定期的に公演を行ふ

朝鮮樂劇團が 明治座と提携

になってある【事意』金明信題】

色中であったが、このほど明治堅

晩餐會を個すが需要五個、な代明後五時から半島ホテルに於て



か聞きました、私でお役に立つ事

山痛井容

京目俳壇 秦雜談

し公望感 演の々 近 待











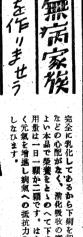














毛生え薬 ●説明書無代進呈 ●田中醫學博士方劑 野の郷生を促進し、その配別及び襲撃を戦います、既ち雷撃、闘王、戦、臨

皮盧淡原 性病科

疾思に



探滅し、伺候育促進性ピタミンを含有し 急性慢性器カタル、異常服酵性下痢、腐 財殖酵性下痢、腸消化不良、乳兒緑便そ の他陽疾患一般に適應する

(錠) 50錠 (末) 30瓦 東京市日本橋區室町 三共株式會社 原城船大和町 朝鮮三共株式會社

**傘井蘆洲演** 

彦【梅】

公方頭

断

が開いた皇道と言では、明確さ來

ることになったが、今回の扶

闘った、思へば我々夫婦が命にも

「駅のてゐたら、照用す六年二」に吐蒙としてあつた。微に京城を 「られなかつた。然と笑はすにはの気をは、もうこの年謝に、ゐな を、一本称朝に聞いてあつて、劔 やうなので、一幡に笑はずにはの劇談には彪と歌詠がさる。私は一鞭北なベンキ艦の参蘭祭行の磯利 気のない話ざちは、まるで落語の劇談には彪と歌詠がさる。私は一鞭北なベンキ艦の参蘭祭行の磯利 気のない話ざちは、まるで落語の

びた渚に大きな職が一断とろがつ

男女の知識人が

扶餘に勤勞奉仕

皇道學會が参加慫慂

立
民
さ
ん
の
挿
話













無病家族

医学婦1 渡邊 雷 電本894

高木式 早川 断食寮





